

## ホームページのご案内

当社のHPでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスして下さい。

URL:<http://www.ikco.co.jp/>



株式会社アイケイコーポレーション

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階  
TEL03-6803-8811 FAX03-3409-5050



## 株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答下さい。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 3377

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索して下さい。



空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信して下さい。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用し、大豆油を利用したソイインキを使用しています。



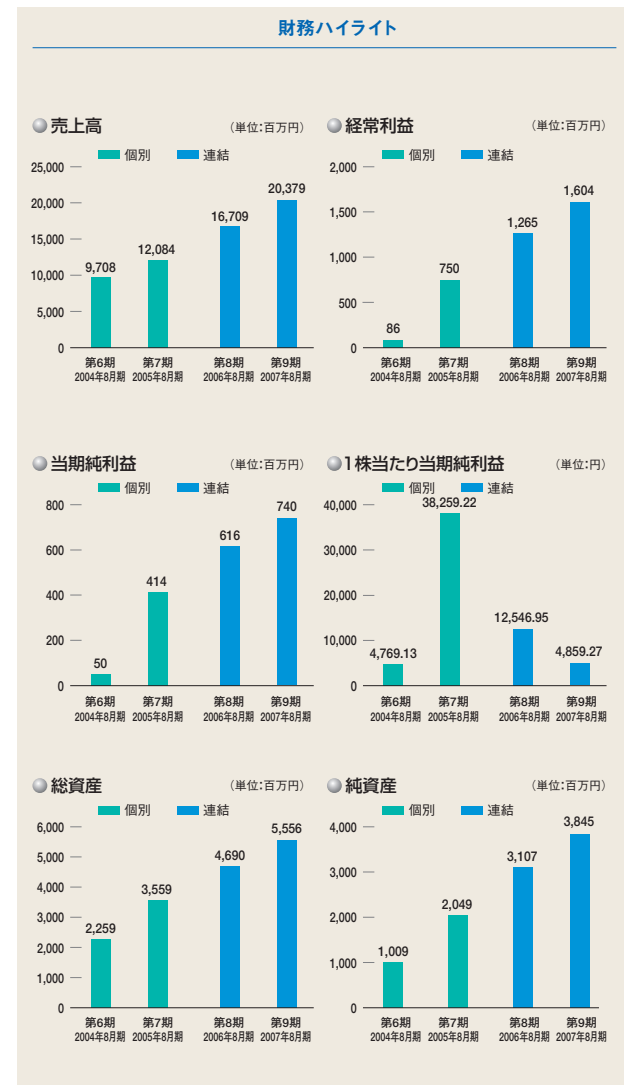
株式会社アイケイコーポレーション

株主の皆様へ

第9期 株主通信

2006年9月1日～2007年8月31日

株主の皆様へ



代表取締役社長 加藤 義博  
取締役会長 石川 秋彦

株主の皆様へ

株主および投資家の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループは設立以来、オートバイ買取市場という従来不透明であった事業分野を開拓し、買取能力の向上に努め、オートバイビジネスのノウハウを培ってまいりました。これらのノウハウを独自のITシステムに集積し、更なる買取能力の向上に努め、利便性の高い、魅力ある企業づくりを進めています。今後も価値あるオートバイの適正な買取価格設定と多店舗展開の推進等により当社グループのコアブランドである「バイク王」の浸透を図り、より多くのお客様に満足と感動を提供してまいります。

また、当社グループでは『オートバイライフの総合プランナー』をビジョンとし、中古オートバイ買取販売事業(中古オートバイ買取販売、オートバイ小売販売、パーツ販売、海外取引)、オートバイ駐車場事業を展開しています。

今後もこれらの事業の拡大・構築に努めるほか、オートバイに関わる事業を創出し手がける企業集団となることで、オートバイ市場の活性化、リユース・リサイクルを通じた社会・環境問題への貢献に寄与し、安定的な成長と企業価値の最大化を目指してまいります。

当期の業績について

当社グループは、従来から推進してまいりました積極的な広告展開および多店舗展開による認知度向上にともなって、申し込み件数の増加に加え、当社の信用力向上等により売上総利益率が向上しました。オートバイ買取専門店「バイク王」の出店に関しては、ロードサイド店舗(RS店舗)5店舗、中規模店舗(MS店舗)7店舗、小規模店舗(SS店舗)8店舗を新規出店し、直営店舗数は74店舗(パーツ販売店1店舗を含む)となりました。

また、オートバイ小売販売を営む子会社「株式会社アイケイモーターサイクル」(2007年2月設立)においては、2007年3月に株式会社テクノスポーツより事業を譲受け、2007年4月にオートバイ小売販売店「テクノスポーツ」7店舗の営業を開始しました。更に、当社が従来試験的に実施していましたオートバイ小売販売店「i-knew(アイニュー)」は、2007年6月1日に同社に事業譲渡しています。

これにより、中古オートバイ買取販売事業における販売台数は132,498台(前年同期比25.7%増)となりました。

子会社「株式会社パーク王」にて展開するオートバイ駐車場事業において、事業地の確保・拡大戦略から収益性の向上を中心に置いた事業展開に努めてまいりました。その結果、新規事業地の開設とともに不採算事業地を閉鎖しており、事業地数は45箇所(時間貸419車室・月極158車室)となりました。

子会社2社を先行投資期間と位置づけながらも、堅調な「バイク王」を中心とする中古オートバイ買取販売事業における販売台数の増加を主たる要因とし、当社グループ全体の当期における売上高は20,379,968千円、営業利益は

1,574,222千円、経常利益は1,604,516千円、当期純利益は740,169千円となりました。

次期の見通しについて

2008年8月期については、「バイク王100店舗計画」をはじめとする中長期的な経営戦略を遂行するため、多店舗展開の実施を推進していくと同時にこれに耐えうる社内体制の構築を進めてまいります。(新規出店18店舗:MS店舗7店舗、SS店舗11店舗)

社内体制面につきましては、確実な店舗運営が可能となるよう管理体制の見直しおよび構築を進め、人財不足が拡大戦略のボトルネックにならないよう人事施策の充実を推進してまいります。

これらの多店舗展開の推進および社内体制の改善等により、販売費及び一般管理費は増加する見込みですが、営業効率の向上によって、前期と比較し、売上高および利益の増加を見込んでいます。

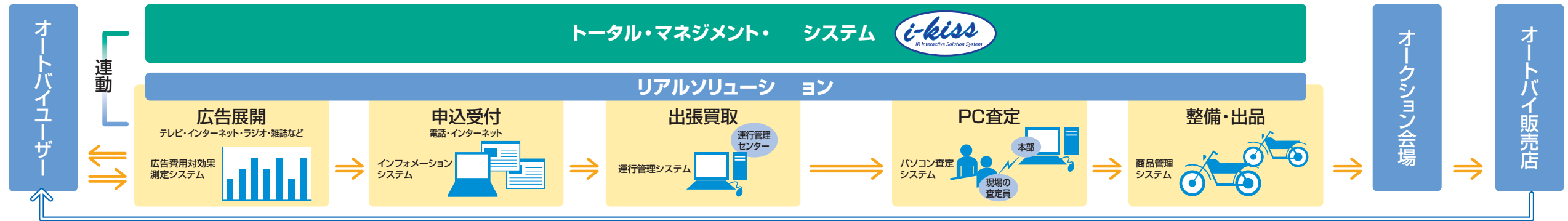
なお、2007年8月期と同様、業績の下期偏重を見込んでいます。これは、当社グループのオートバイの買取について、冬季と比較し夏季にオートバイの取扱台数および売上高が増加する傾向にあり、また、当社連結子会社2社において過年度からの業績改善の効果が下期に見込まれるためであります。

子会社「株式会社アイケイモーターサイクル」において展開するオートバイ小売販売(「i-knew」・「テクノスポーツ」)に関しては、当社グループの収益拡大に寄与すべく、積極的に販売活動を進め、営業損益の通期黒字化を目指すとともに、将来的な展開に備える基礎を構築するために、当社と当該子会社におけるオペレーションの連携および調整、また管理体制の見直し等に注力してまいります。

子会社「株式会社パーク王」において展開するオートバイ駐車場事業(「パーク王」)に関しては、収益構造の調整(時間貸・月極等の割合の調整)を図ったうえで時間貸710車室、月極450車室の新規開設を予定しています。



▼バイク王のビジネスモデル



**バイク王** ~ユーザーに信頼され、選ばれるブランドへ~

全国の各店舗からお客様のご自宅へ、ご指定の時間に専門の査定員が直行する無料出張買取。独自開発のITシステム「i-kiss」に支えられた全国统一の査定基準による明瞭かつ適正な買取価格の提示。トラブルのない現金決済。当社は、常にオートバイユーザーの立場で考え、その利便性を徹底的に追求してまいりました。お客様本位のサービスをお届けし、ユーザーに信頼され選ばれるブランドであるべく、スタッフ一丸となって日々の業務に取り組んでいます。



インフォメーションセンター

**バイク王** の強み

- 24時間365日受付
- 無料出張買取
- 手続き無料代行



買取にむかうトラック

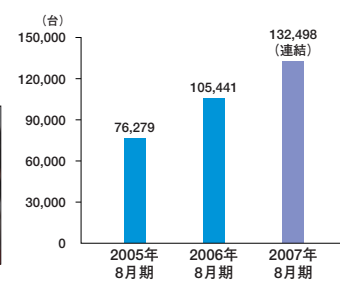


小型PCによる安心査定

効果的な広告出稿により、販売台数増加

当社では早くから、テレビ・インターネット・ラジオ・雑誌などを活用した広告宣伝活動を展開しています。また、広告の費用対効果を測定する独自のシステムを開発し、継続的なモニタリングと多面的な分析を行い、分析結果を広告出稿、各種キャンペーンやイベント等の企画を連動させたメディアミックスに活用しています。その結果、「中古オートバイ買取＝バイク王」の図式が多くのお客様に認知され、申し込み件数の増加にともなって販売台数も増加しています。

■ 販売台数の推移

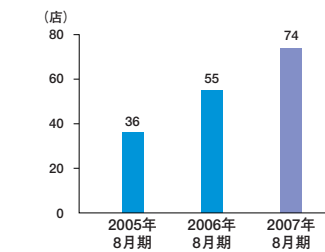


積極的な広告展開

100店舗体制に向け、着実な店舗展開

当社では、中期経営計画に掲げる「バイク王100店舗計画」の実現を目指し、積極的な出店を全国で進めています。現在、主要幹線道路沿いにはロードサイド店舗を、また駅前繁華街等の生活地域には小規模店舗を出店し、2007年8月期においては、その両店舗の利点を兼ね備えた中規模店舗も投入しました。出店は計画通りに進められ、出張買取拠点としての機能の充実、商圈の細分化による効率的な営業活動の実現のほか、バイク王ブランドのアピールを可能とする視覚的効果の高い店舗づくりにより、信頼される買取専門店のオンリーワン・ブランドとして着実に成長を遂げています。

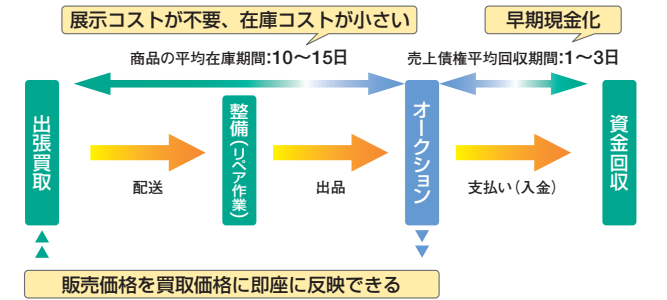
■ 「バイク王」店舗数 (パーツ店舎) の推移



視覚的効果の高い店舗形態

適正利益の確保と効率的なキャッシュ・フロー経営

当社では、買い取ったオートバイを自社で整備し商品価値を高めた上で、主に業者オークションにて販売しています。これにより、仕入れから資金回収までの期間は約10日～20日。この結果、在庫期間の短縮、保管に要する人員・スペースの確保等にかかるコストの軽減が図られ、更に買取価格とオークション販売価格を連動させることで、適正利益の確保と効率的なキャッシュ・フローを実現しています。



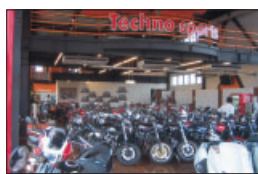
新規事業の創出・確立により、企業価値の最大化を図ります。

### オートバイ小売販売 株式会社アイケイモーターサイクル

オートバイの小売販売を目的に2007年2月に設立した「株式会社アイケイモーターサイクル」(当社出資比率100%)は、株式会社テクノスポーツより事業を譲受け、4月にオートバイ小売販売店「テクノスポーツ」7店舗の営業を開始しました。同年6月には、当社小売販売店「i-knew」も同社へ統合し、現在、グループにおける小売販売会社として直営8店舗を展開しています。いずれも「バイク王」からの車輛提供による豊富な在庫を実現。販売・修理・買い替え・下取りといったサービスを網羅し、ユーザーのオートバイライフをサポートしています。



オールジャンルを取り扱う本格派オートバイショップとして、主要都市に展開。「全国各地の一生付き合えるパートナー」をブランド・コンセプトに掲げ、車輛販売はもとより、購入時の相談、購入後のアフターケアや周辺商品の取り扱い拡充、ETC車載機の取り付けサービス等、ハード・ソフトの両輪を回すことで、販売店の域に留まらない店舗活動を行っています。



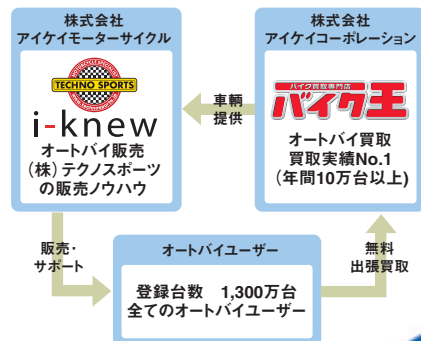
テクノスポーツ仙台店

### i-knew

「オートバイを通じたライフスタイルの提案」、「オートバイのセレクトショップ」をテーマに、ビッグスクーターを中心に扱うコンセプトショップです。カフェベースの併設、インテリア雑貨の取り扱いを同時に行うことで、オートバイに対する新しいイメージを喚起・創出し、女性ユーザーやオートバイビギナーの方も来店しやすい環境を整えています。



i-knew 相模原店



### オートバイ駐車場 パーク王



オートバイ時間貸し駐車場



オートバイをいたずらや盗難から守るバイクシェルター

2006年3月に設立したオートバイ駐車場事業を営む「株式会社パーク王」(当社出資比率87.5%)は、積極的な事業地展開と駐車場装置・設備機器の販売を行っています。

事業地は、時間貸と月極を運営。地域特性や地代を鑑みた駐車機器の選択・設置をすることで、ユーザーが利用しやすい環境を整え、稼働率の向上に努めています。

2006年6月に施行された「改正道路交通法」により、違法駐車取締りが強化されたことから、オートバイ駐車違反取締り件数は、前年の2.5倍(27万件)に激増。反面、オートバイ駐車場は、全国にまだまだ約150箇所(35,000台分・2007年8月、全国オートバイ協同組合連合会調べ)と絶対数に程遠い状況です。当社は、オートバイ駐車場の拡充を業界の課題であると認識し、ユーザーの利便性確保、公共社会への貢献を目指し、今後も事業の拡大を図ってまいります。

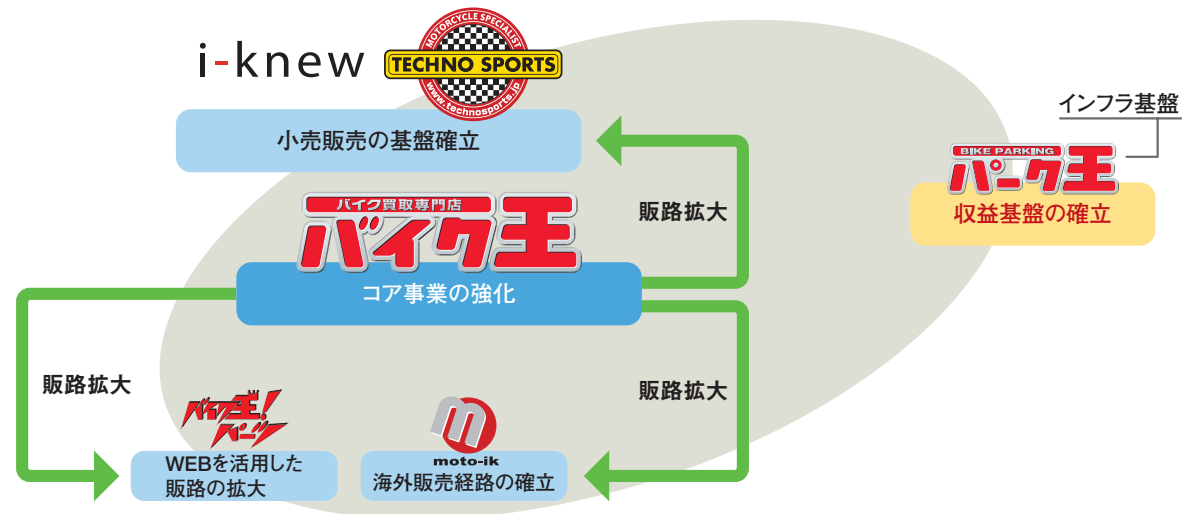
### パーツ販売 パーク王!

「バイク王」直営のパーツ販売店。店頭販売に加え、インターネット販売にも注力し、高品質、低価格を実現しています。中古はもちろん新品、アウトレット商品まで豊富な品揃えでお客様のニーズにお応えします。

### 海外取引 moto-ik

「Nilin.jp」を発展的に解消し、新たに2007年4月よりスタートした海外取引ブランド。各国のニーズに応じた、海外マーケットでのビジネスを模索し、新たな販路の開拓等に努めています。

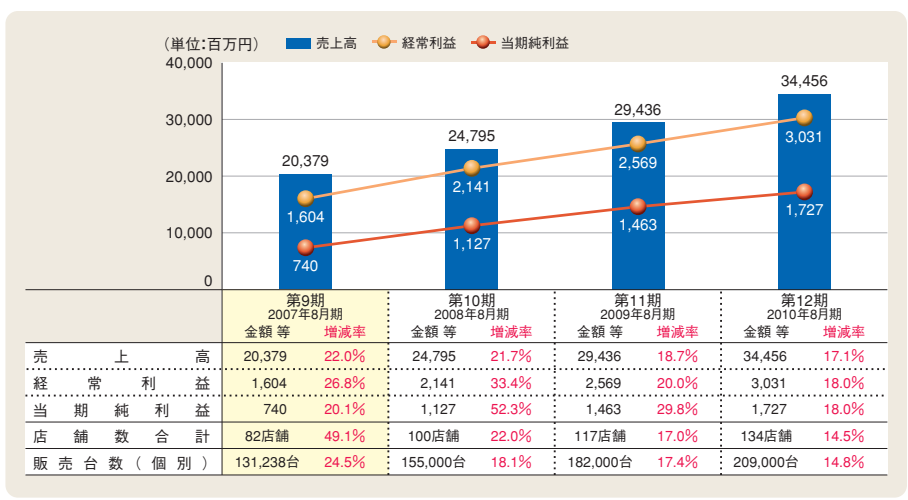
買取販売を中心とする事業の形成



当社グループは、リユースの視点に基づく中古オートバイ買取販売事業を展開してまいりました。

今後につきましても、同事業を主たる事業と位置づけ、コアブランド「バイク王」の展開に注力し、まずは既に掲げております「バイク王100店舗計画」の実現を図ってまいります。

また上記に加え、新規事業の確立を進め、ビジョンとして掲げる『オートバイライフの総合プランナー』の実現を図るべく、「買取販売を中心とする事業の形成」に努めてまいります。



第10期の重点施策

オートバイ買取事業「バイク王」

「バイク王100店舗計画」をはじめとする中長期的な経営戦略を遂行するため、多店舗展開の実施を推進していくと同時にこれに耐える社内体制の構築を進めてまいります。具体的には「バイク王」の新規出店を18店舗(MS店舗7店舗、SS店舗11店舗)予定しています。

またそれにとめない、確実な店舗運営が可能となるよう管理体制の見直しおよび構築を進め、人材不足が拡大戦略のボトルネックにならないよう採用活動とともにマネジメント層の教育・確保を図り、人事施策の充実を推進してまいります。これらにより、販売費及び一般管理費は増加する見込みですが、多数の新規出店および社内体制の見直しによる営業効率の向上によって、前期と比較し、売上高および利益の増加を見込んでいます。



新規事業①：オートバイ小売販売「アイケイモーターサイクル」

「アイケイモーターサイクル」に関しては、当社グループの収益拡大に寄与すべく、積極的に販売活動を進め、営業損益の通期黒字化を目指すとともに、将来的な展開に備える基礎を構築するために、当社と当該子会社におけるオペレーションの連携および調整、また管理体制の見直し等に注力してまいります。

新規事業②：オートバイ駐車場事業「パーク王」

「パーク王」に関しては、収益性の向上を中心に置いた事業展開に注力し、収益構造の調整(時間貸・月極等の割合の調整)を図ったうえで時間貸710車室、月極450車室の新規開設を予定しています。

第10期(2008年8月期)業績予想(連結)

売上高……………24,795百万円(前期比21.7%増) 経常利益……………2,141百万円(前期比33.4%増)  
 営業利益……………2,098百万円(前期比33.3%増) 当期純利益……………1,127百万円(前期比52.3%増)



連結財務諸表



連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	第8期 (2006年8月31日現在)	第9期 (2007年8月31日現在)
<b>●資産の部</b>		
流動資産	3,373,382	3,740,225
現金及び預金	2,350,316	2,646,758
売掛金	249,158	109,590
たな卸資産	443,502	584,144
前払費用	242,270	230,086
繰延税金資産	51,392	66,842
その他	41,331	104,873
貸倒引当金	△4,586	△2,070
固定資産	1,317,021	1,816,064
有形固定資産	567,965	826,321
建物及び構築物	372,605	580,802
車両運搬具	42,253	89,062
その他	94,876	110,087
建設仮勘定	58,230	46,368
無形固定資産	307,378	533,481
のれん	—	251,067
ソフトウェア	232,000	268,357
その他	75,377	14,055
投資その他の資産	441,678	456,261
繰延税金資産	43,903	23,283
敷金・保証金	382,816	422,053
その他	14,958	10,924
資産合計	4,690,404	5,556,289

科目	第8期 (2006年8月31日現在)	第9期 (2007年8月31日現在)
<b>●負債の部</b>		
流動負債	1,491,427	1,620,341
買掛金	61,241	69,861
短期借入金	—	100,000
1年以内返済予定の長期借入金	14,000	24,000
未払金	629,055	516,334
未払法人税等	536,505	624,501
その他	250,624	285,643
固定負債	91,961	90,879
長期借入金	46,000	22,000
その他	45,961	68,879
負債合計	1,583,389	1,711,220
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	3,103,315	3,815,443
資本金	583,346	584,534
資本剰余金	602,968	604,156
利益剰余金	1,916,999	2,626,751
新株予約権	—	29,625
少数株主持分	3,700	—
純資産合計	3,107,015	3,845,068
負債・純資産合計	4,690,404	5,556,289

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	第8期 (2005年9月1日から 2006年8月31日まで)	第9期 (2006年9月1日から 2007年8月31日まで)
売上高	16,709,192	20,379,968
売上原価	8,384,562	9,563,845
売上総利益	8,324,629	10,816,122
販売費及び一般管理費	7,142,192	9,241,900
営業利益	1,182,437	1,574,222
営業外収益	109,298	32,795
営業外費用	26,687	2,501
経常利益	1,265,049	1,604,516
特別利益	26,920	4,837
特別損失	35,234	56,886
税金等調整前当期純利益	1,256,734	1,552,467
法人税、住民税及び事業税	697,090	810,828
法人税等調整額	△50,299	5,169
少数株主損失	6,299	3,700
当期純利益	616,243	740,169

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	第8期 (2005年9月1日から 2006年8月31日まで)	第9期 (2006年9月1日から 2007年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,275,437	1,213,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	△639,068	△958,422
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82,722	41,131
現金及び現金同等物の増減額	553,647	296,442
現金及び現金同等物の期首残高	1,796,668	2,350,316
現金及び現金同等物の期末残高	2,350,316	2,646,758

■事業の種類別セグメント情報

(単位:千円)

	中古オートバイ 買取販売事業	オートバイ 駐車場事業	消去又は 全社	合計
売上高	20,237,379	142,588	△150	20,379,968
営業利益(損失)	1,701,071	△126,953	104	1,574,222

連結株主資本等変動計算書

第9期(2006年9月1日から2007年8月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本				新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計			
2006年8月31日残高	583,346	602,968	1,916,999	3,103,315	—	3,700	3,107,015
連結会計年度中の変動額							
新株の発行	1,188	1,188		2,376			2,376
剰余金の配当			△30,417	△30,417			△30,417
当期純利益			740,169	740,169			740,169
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					29,625	△3,700	25,925
連結会計年度中の変動額合計	1,188	1,188	709,751	712,127	29,625	△3,700	738,054
2007年8月31日残高	584,534	604,156	2,626,751	3,815,443	29,625	—	3,845,068

## 個別財務諸表

## 貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科目	第8期 (2006年8月31日現在)	第9期 (2007年8月31日現在)
●資産の部		
流動資産	3,280,145	3,572,393
現金及び預金	2,296,675	2,454,135
売掛金	249,158	258,475
商品	412,985	480,991
貯蔵品	3,156	3,906
前払費用	233,212	211,961
繰延税金資産	51,392	65,344
その他	38,152	97,578
貸倒引当金	△4,586	—
固定資産	1,375,847	2,023,422
有形固定資産	566,935	679,160
建物	365,172	438,414
構築物	7,433	7,856
車両運搬具	41,434	84,306
工具器具備品	94,664	102,680
建設仮勘定	58,230	45,901
無形固定資産	307,378	264,010
商標権	4,094	5,996
電話加入権	3,369	3,369
ソフトウェア	232,000	254,644
ソフトウェア仮勘定	67,912	—
投資その他の資産	501,534	1,080,251
関係会社株式	70,000	150,000
出資金	60	140
従業員長期貸付金	2,044	1,623
関係会社長期貸付金	—	565,135
長期前払費用	12,853	7,977
繰延税金資産	43,903	51,773
敷金・保証金	372,672	373,600
投資損失引当金	—	△70,000
資産合計	4,655,993	5,595,815

科目	第8期 (2006年8月31日現在)	第9期 (2007年8月31日現在)
●負債の部		
流動負債	1,462,639	1,417,926
買掛金	52,296	64,368
未払金	624,817	509,231
未払費用	94,568	115,110
未払法人税等	536,415	623,724
未払消費税等	99,247	69,440
前受金	6,081	2,352
預り金	49,132	33,403
その他	78	294
固定負債	45,940	30,515
長期未払金	45,940	28,915
その他	—	1,600
負債合計	1,508,580	1,448,441
●純資産の部		
株主資本	3,147,412	4,117,747
資本金	583,346	584,534
資本剰余金	602,968	604,156
利益剰余金	1,961,097	2,929,056
新株予約権	—	29,625
純資産合計	3,147,412	4,147,373
負債・純資産合計	4,655,993	5,595,815

## 損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	第8期 (2005年9月1日から 2006年8月31日まで)	第9期 (2006年9月1日から 2007年8月31日まで)
売上高	16,653,377	20,035,959
売上原価	8,334,210	9,315,290
売上総利益	8,319,167	10,720,669
販売費及び一般管理費	7,088,089	8,880,871
営業利益	1,231,078	1,839,797
営業外収益	107,854	22,270
営業外費用	26,615	176
経常利益	1,312,317	1,861,891
特別利益	26,920	5,747
特別損失	32,196	81,084
税引前当期純利益	1,307,041	1,786,554
法人税・住民税及び事業税	697,000	810,000
法人税等調整額	△50,299	△21,822
当期純利益	660,340	998,376

## ■利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

当社グループは、財務体質の強化、将来の事業展開等を勘案のうえ、継続的な企業価値の向上に努め、内部留保および利益配分を決定しております。

内部留保につきましては、業務の一層の効率化を進めるための新規出店、システム整備および新規事業への投資等、将来の経営効率を高めるための事業基盤強化の原資に充当してまいります。また、配当につきましては、安定的な配当を行うことを念頭に置きつつ、業績等を勘案したうえで配当金額を決定してまいります。その結果、当期の配当金は1株につき普通配当300円を予定しております。次期にしましては新たに中間配当の実施を予定し、1株につき普通配当800円(うち中間配当400円)を予想しております。

今後も持続的な収益力や成長戦略のための投資計画等を総合的に勘案しながら、収益の拡大に応じた株主還元を検討してまいります。

## 株主資本等変動計算書 第9期(2006年9月1日から2007年8月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本							株主資本 合計	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		株主資本 合計			
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金 別途積立金	利益剰余金 合計				
2006年8月31日残高	583,346	602,968	602,968	13,250	1,230,000	717,847	1,961,097	3,147,412	—	3,147,412
事業年度中の変動額										
新株の発行	1,188	1,188	1,188					2,376		2,376
剰余金の配当						△30,417	△30,417	△30,417		△30,417
当期純利益						998,376	998,376	998,376		998,376
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)									29,625	29,625
事業年度中の変動額合計	1,188	1,188	1,188	—	—	967,958	967,958	970,334	29,625	999,960
2007年8月31日残高	584,534	604,156	604,156	13,250	1,230,000	1,685,806	2,929,056	4,117,747	29,625	4,147,373

会社概要／株式の状況

会社概要 (2007年8月31日現在)

商号 株式会社アイケイコーポレーション  
 本社所在地 〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階  
 事業内容 オートバイの新しい流通システムを提案する「バイク買取専門店」の経営  
 設立 1998年9月(創業1994年9月)  
 資本金 584,534千円(2007年8月31日現在)  
 連結従業員数 714名/平均年齢29歳(2007年8月31日現在)

役員 (2007年8月31日現在)

取締役会長 石川 秋彦 常勤監査役 増渕 洋吉  
 代表取締役社長 加藤 義博 監査役 諏訪 浩  
 取締役 大谷 真樹 監査役 長坂 忠宏  
 取締役 松本 博幸

株主メモ

事業年度 9月1日から翌年8月31日まで  
 定時株主総会 事業年度末日の翌日から3ヶ月以内  
 定時株主総会の基準日 8月31日  
 剰余金の配当基準日 8月31日  
 期末配当 2月末日  
 中間配当 2月末日  
 株主名簿管理人 〒103-0028 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 〒103-0028 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
 郵便物送付先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話お問い合わせ 0120-288-324(フリーダイヤル)  
 同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
 みずほインベスターズ証券株式会社  
 本店および全国各支店  
 公告方法 当社ウェブサイト (http://www.ikco.co.jp/) もしくは日本経済新聞

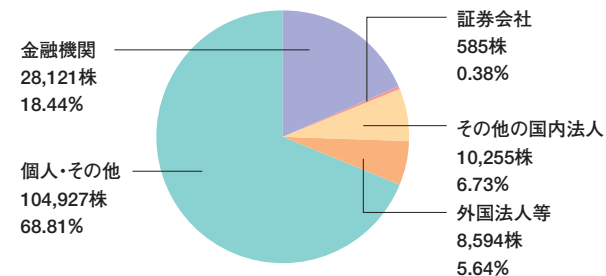
株式の状況 (2007年8月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 312,088株  
 発行済株式数 ..... 152,484株  
 株主数 ..... 1,344名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	議決権比率
石川秋彦	39,516 株	25.91 %
加藤義博	35,556	23.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,063	8.56
有限会社ケイ	9,000	5.90
石川ゆかり	7,980	5.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,949	5.21
大谷真樹	3,150	2.06
加藤信子	2,940	1.92
ビーエヌピー パリパセキュリティーズサービス ロンドン/ジャスデック/ユーケー レジデント	2,240	1.46
稲井田安史	2,040	1.33

所有者別株式分布状況



ネットワーク

ネットワーク (2007年8月31日現在)

- 本社 〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階
- インフォメーションセンター 〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町1-2 JA共済埼玉ビル2F/8F
- 筑波物流センター 〒305-0867 茨城県つくば市境田字長堀185-8
- さいたま物流センター 〒338-0836 埼玉県さいたま市桜区町谷4-1-1
- 福岡物流センター 〒811-2205 福岡県糟屋郡志免町別府483-1

信越・北陸エリア

バイク王 2店舗

関西エリア

バイク王 16店舗

バイク王 1事業地

バイク王 1店舗

中国エリア

バイク王 2店舗

九州エリア

バイク王 7店舗

バイク王 1店舗

沖縄エリア

バイク王 1店舗

